

「寒河江市学校施設整備計画」地域説明会 質疑応答

会場：寒河江中部小学校 体育館

日時：令和4年6月29日（水）19時30分から20時55分

参加人数：24名

出席者：教育長

学校教育課長（兼）学校再編整備室長

学校再編整備室 室長補佐（兼）係長

学校再編整備室 学校再編整備係主任

（質問者）

説明ありがとうございます。2点よろしく申し上げます。1点目ですが、中学校で、例えば、少し前に高畠町、4校が1校になっているということで、結構思い切ったことだなあとって見ていたのですが、中学校は、寒河江も驚いたのですが、1校に合わさるということで、いろんな動きがあるなかで、いい面、効果とか、情報を仕入れているか。もう1つは中学校これを見ますと、今年度用地選定ということで動きがあると思うのですが、ある程度の目星がついているかどうか、以上2点お願いいたします。

（学校再編整備室 室長補佐）

1点目の高畠中学校について、実際にお話しを聞かせていただきました。4つの中学校が1つになるということで、統合の前にはいろいろな問題があったようです。話し合いを重ねていくなかで、市民の合意を得て、1校となったようです。いろいろな地区から集まることで、それぞれの中学校の良さを生かした統合中学校ということがあったようです。そして、統合前には、君たちが新しい学校に入ったときには、みんなで新しい歴史を作っていこうということで、それぞれの中学校の先生が送りだしたそうです。前段階の準備があって、とても順調に中学校は運営されたということです。それぞれの中学校の代表の子が集まることで、大きかった中学校、小さい中学校それぞれ知恵を出し合い、新しい中学校を作っていった。統合することでの意見の集約、考えの集約ということがメリットとしてあったと伺っております。

（学校教育課長）

用地の関係ですが、今年度中に用地を選定する計画になっております。市役所の庁内で検討委員会を立ち上げ、これから候補地の選定をしていきたいと思っております。

（質問者）

説明ありがとうございます。令和10年度に中学校が統合される、

そしてこの計画の内容は、新しい施設、子どもたちが主体的に学習できるようなスペースが用意されるのはすごいなあと思っているところです。ですが、実際の主体的な学習やこまやかな指導にむけて、小学校とかどういう風な動きをしていくのか、それがあれば教えていただきたいと思います。

（教育長）

ありがとうございます。そういった学習ができるスペースをつくって、発表の場、壁にプロジェクターで映して発表できるとか、ハード面は施設として作れるわけですが、授業の中身は先生たちと子どもたちと一緒につくっていくということだと思います。できる環境があってもやるかやらないかということが大きいところで、小学校も中学校もこういう内容を学びますとかこういう学び方をしますとかということで、学習指導要領が定められています。その中でも、以前ですとどれだけ知識を身につけて、そこからいろいろ考えていったり、表現力、判断力とかをどのようにつけていくかが中心にあったのですが、新しい学習指導要領では、知識、技能も当然必要ですが、それだけではなくそこからお互い刺激し合って、意見を交換し合って、こういうものがないのではないかと提案したり、発表すること自体も社会から必要とされるプレゼンテーション能力とかも、今のうちから養っていく必要があると思います。タブレットを活用し

での授業なども市内の小中学校で行われておりますし、現在でもそうした新しい学習指導要領に応じた授業が行われており、かつての授業スタイルとは変わってきているなど授業を見ながら感じているところです。そうした指導方法についても、研修会もしながら積み重ねていって、先生方の教え方もレベルを上げていくということも考えていきたいと思えます。

(質問者)

ありがとうございます。令和10年度、統合されて人数が増えるので、すごい中学校になることを信じて待ってほしいなと思えます。

(質問者)

令和元年7月に第1回の検討委員会が開かれて、2年5か月、そしてこの5月から説明会をやっていると言っているのですが、何もなかったら、いろいろ新聞折り込みやなんやかんやあったので、この説明会を開いたんだと思うんですよね。それがなかったら説明なしにこの学校再編を進めていくつもりだったんでしょうけど、絶対反対です。いろいろあったんですが、いじめをなくすようにどこからも見えるように学校、クラスを広くしていじめをなくすようにとありましたが、いじめはどこでも起きます。すみっこでも起こるんです。いじめはこれからもあると思えます。大きい学校になったら、いじめは増

えると私は思います。この学校再編は反対です。

（学校教育課長）

ご意見ありがとうございます。いじめに関しては、大規模校だから、いじめが増えるとは、あまり言われていないのかなと思います。

（質問者）

小さくてもあるでしょうけど、大きくてもあります。大きくなったら先生方の目が届かないと思います。私が言ってもみなさんに伝わらないと思いますし、みなさんがおっしゃったことに反論できないと思います。増えると思います。

（教育長）

いじめのご心配は当然だと思いますし、我々もしっかり対応していかなければならないと考えています。学校が大きくなっても1学級の人数は先ほどの説明にもありましたように、極小規模校と比べれば多くなりますが、基本、山形県のさんさんプランで33人以下の学級になっていますので、学級数が増えると教員の数も増えますので、いろんな見方もできる。教員の目も多くなるということもあります。先ほどの説明にもありましたが、子どもたちもストレスを抱えている子も多いと思います。この前発表になったいじめの件数もコロナ

の感染拡大で件数が増えている。その要因として、活動が制限されているとか考えられると思うんです。子どもたちが気持ちのゆったりできるスペースであるとか、そういったことも含めながら学校のことを考えていきたいと思います。

(質問者)

高松小学校の出身です。西部地区から白岩小学校と高松小学校と陵西中学校もなくなってしまうんです。そんなことあっていいのかしら。私は、谷沢ですが、谷沢に新しく家を建てて住んでいる方が複数人いるんです。谷沢と言っても清助新田に近いので、小学校も中学校もそんな遠くないし、家を建てて住み始めたんですね。そしたらこれじゃないですか、本当にかっかりしていると思いますよ。たくさん言いたいことあるんですが、こんな適当なことを言っていますが緊張しているんです。あと思ったのは、この用紙を1枚準備してくださったのですが、それ以外にもいろいろあって、さらさらとおっしゃってくださったのが、次から次と右から左にいつてしまったので、あまりよくわからなかったということもありました。

(質問者)

関連していいですか。今回の統廃合、一番びっくりしたのが今お話のあった高松、醍醐、白岩、三泉、西根全部なくなるんですよ、地域か

ら小学校がなくなるんですよ。地域から学校がなくなることの影響を本当に深刻に考えてほしいと思います。あと、説明会ということで、いろいろな意見がでるかわかりませんが、ちらっと聞くには反対意見があるような話を聞いておりますが、この説明会の位置づけですね、アライバイ工作の説明会なのでしょうか。何を言っても、もとはには戻らないというような説明会なのでしょうか。どうでしょうか。それはなぜかというと、あり方検討委員会の答申、パブリックコメントに50件くらい意見が届いたことなのか、一切公表することなくアライバイ工作として加わりました。今回の説明会もアライバイ工作の一環ではないでしょうか。いろんな市民の方の意見があって、そうだなと思うのであれば、柔軟性と言いますか、そういうことは一切感じられないのは残念でならないです。ついでに言いますが、あり方検討委員会で出した結論が多数決にすらなっていないんですよ。あれはなんですか。これを勝手に教育委員会の方で、いいかげんなことでやっているのはとんでもない。

（学校教育課長）

ありがとうございます。説明会については、今回、小学校区を全部まわって、来月も保護者の方を対象にまわっていきたい。さらには秋ごろにも計画しておりまして、みなさんの意見を聞かせていただきたいと思っております。パブリックコメントの件ですが、50件ほどあ

りましたが、パブリックコメントでいただいたご意見については、あり方検討委員会の中でも十分に話し合われておりまして、パブリックコメントのご意見は、計画に反映されているものと考えております。

（教育長）

先ほどのあり方検討委員会の中で多数決とありましたが、中学校1校案、2校案についてだと思うのですが、あり方検討委員会でも検討されて中学校1校案または2校案どちらがいいのかをいろんな面から議論してもらいました。それぞれいい点もあるし、課題となる点もある。どちらとも結論づけられないということで、答申としては、1校案と2校案の併記となりました。それを受けまして、市の方で検討しまして教育委員会で1校案として計画を作ったわけですが、1校案にすると通学の問題とか大きな課題もあるかなと思っています。ただ、2校案としたときに、陵南中学校と陵西、陵東の統合校として想定されていましたが、陵東、陵西学区の子どもたちの数が減っていくんですね。今いる子どもたちの数で推計すると令和13年度には375人。今の陵東中学校よりも人数が少なくなってしまう。令和15年度までわかるわけですが、350人くらいになってしまう。そこからまた減っていくことが予想される。そういったときに学校をつくって20年くらいでまた1校への統合を考えなくてはならないと

というのは、いろんな面で合理的ではないだろうと、そこはパブリックコメントでいただいた意見にもお答えさせていただいたところですが、中学校については1校案ということで計画を示めさせていただいているということです。

(質問者)

当たり前前に少子化とおっしゃいますよね。けども、今の市長さんは、少子化を食い止めるためにいろんな施策をやっているんですよ。高校までの医療費の問題とか、あるいは学校の給食費の無償化、家を建てる場合の手厚い支援策をやっている。住むなら寒河江、ぜひ寒河江市に来てくださいとやっている最中にかかわらず少子化です。そういう問題じゃないでしょと。

(教育長)

ありがとうございます。今おっしゃられたように医療費、給食費、住宅の補助など寒河江市ではいろんな子育て支援を行っております。例えば、合計特殊出生率という数字がありますが、1人の女性の方が何人の子どもを産むかということですが、令和2年度の数字は、寒河江市は全国、県よりも高い数字になっています。それはそうした子育て支援の結果、1つの成果かなと思います。ただ、そういった面での成果はありますが、子どもたちの絶対数は減っていることは現実で

して、それは寒河江だけでなく、他の市や町もそうですし、全国的にもそうです。そういった中でこれからの子どもたちをどう育てていくか。また、答申にもありましたが、考えるときに財政面も含めて、いろんなことも含めて考えたときに、やっぱり統合であったり、中学校1校案であったりということでの計画を作らせていただいた状況でございます。

（質問者）

意見、最後にですけども、繰り返しますけど高松、醍醐、白岩、西根、三泉の広大な地域から学校がなくなることの悪影響をしっかりと考えていかなければならないと思います。以上です。

（学校教育課長）

ありがとうございます。

（質問者）

先ほど限りあるお金を使うのに新しく建てた方がいいのではないかとありましたが、すごい広いところから一か所に集めるのに、スクールバスとか企業のバスを借りるだのなんだのかんだのいろいろでありますが、その料金ときたら莫大な金額になるのではないのでしょうか。小学校もそうですが、中学校になったら、学校が終わってすぐ帰

る子、部活やって帰る子、朝だって広いところから乗せてこなきゃならないのに、2時間も前にお子さんがバスに乗ることも、もしかするとありえると思うんですよ。バス1台に運転手さん1人というわけにはいかないと思うんですよ。もう1人つくと思うんですよ、危ないので。すごい人件費がかかると思うのですが、そういうところはどう思っているのですか。

（教育長）

ありがとうございます。通学については、広範囲での統合を考えたときに大きな課題だと思っております。陵西中学校ではスクールバスを活用しておりますが、夕方1回だけでなく、3年生が部活動が終了したあと3年生は早めに帰れるように、1、2年生は部活動が終わったあとなど夕方は2回運行しております。学校に着く二時間も前に家を出なければならないとなると子どもたちに負担になりますので、そうしたことのないように運行等を考えていきたいと思っております。

（質問者）

スクールバスですが、もう1つ思い出しました。例えば、中学校が1校になったとして、幸生、三泉、西根からくる。1台、2台、3台、学校の周りになるようになるんですよ。それは交通整理するのは大変になってくると思うんです。小さな学校をつくれぬのかしら、

考えれば考えるほどムカムカしてきます。

（学校教育課長）

スクールバスによる交通渋滞は考えなくてはならない問題だと思っております。その辺を検討しながら用地選定を考えていきたいと思っております。

（質問者）

もう一つ。忘れちゃった。

（質問者）

三泉からきております。三泉、西根、寒河江の説明会が終わっております。空気がまるっきり違います。三泉では勉強会を立ち上げてやろうかなと思っております。高畠中学校は説明会を何年間、何会場で、何回行っているか教えてください。

（学校再編整備室 室長補佐）

説明会の回数については今確認しますので、他の方のご質問お願いします。

（質問者）

説明会を開催いただきありがとうございます。質問というか要望ですが、小3、小1の子どもがいて、子どもがロードマップに従えば令和10年のときに統合された中学校に通うこととなります。要望というのは、統合する前、統合した後の生徒のメンタルケアを充実させていただきたいというのが保護者、親としての要望です。特に中学校3年生の時に3つの中学校が統合して新校舎に移ることになると思うのですが、1年間大きな中学校で新しい仲間と学んですぐに高校受験があって環境が変わって、引っ越しは生徒にとってストレスだと思います。環境が変わっていいこともあると思うのですが、環境変化、人間関係など様々なストレスが考えられるかなと。高畠中の統合でもケアされていると思うんですけども、そのあたりの対策を充実させていただきたいという要望です。中学校3年生のときの転校といいますか、校舎を移動するのが嫌で、東根の東桜学館に通わせたいという流れが寒河江市の中学校の親子さんからの動きがでてこないとも限らない。せっかく寒河江市の教育を充実させようとがんばっていらっしゃるところで、不安を感じるようなところはマイナスだと思います。私自身は近い場所に通わせたいと思っているのですが、生徒が統合をむかえるにあたってのストレスの部分、メンタルのケアをお願いしたいと思います。

(教育長)

ありがとうございます。ご心配されることは、本当にそのとおりだと思います。子どもたちが担任だけでなく、他の先生方にも話やすいような雰囲気、教員プラス市でも学習補助員など学校で支援する人もお願いしていますが、子どもたちのメンタルヘルスの部分で十分考えながら対応していきたいと思います。

(質問者)

寒河江市が子どもたちの人数の変化であったり、生徒数の推移を時間をかけて検討されてきたことを尊重している者です。私が気になったのは、グラフの中で減っていないなという印象で見ましたが、1校にまとめるという説明があったので、その辺は要望、意見なのですが、小学校の残し方、統合していくことにも関わるでしょうが、丁寧な残し方をお願いできないかなと思っております。小学校の校舎のこれからについても説明あったと思うのですが、小学校の学区も基本的に徒歩圏であることは大事だと思います。徒歩圏であるということは、ここ最近だと、大雨のときも中部小学校の体育館に多くの方が避難されていました。阪神淡路大震災、東日本大震災も学校がもつ地域の求心力、それは大事なものではないのかなと。この地域の方がよりどころにしている証拠だと思います。建物自体が他の建物と比べましても受け入れられる力がある。それと校歌とか、体育館見まわしても、財産になるものがあって、どこかに残してあったり、そうで

ないと学校を巢立ったものとしてはさみしさを感じる。一方的に学校がなくなってしまうというイメージの話や、意見が多かったものですから、残すものは残して、統廃合の時に見える形で示していただけないかなと思いました。

(学校教育課長)

ありがとうございます。災害時の避難所等に学校等はなっておりますので、統合後も学校が残っているうちは避難所の機能を維持する方向で思っておりますのでよろしくお願いいたします。

(学校再編整備室 室長補佐)

先ほどの高畠町の説明のところですが、平成22年5月に再編計画を教育委員会が策定しました。その年の9月議会で中学校を1校にする方針を説明しました。10月から町民に説明を始めて、延べ154回、2716人、開校までに5年と2か月にわたって説明しているようです。22年10月に説明を開始して、23年には建設用地の取得を始めております。以上です。

(質問者)

ありがとうございました。順番としては、計画を作って、議会に説明してそれから始めたということですが、計画についてはどんな手続

きを踏まれたのでしょうか。

（学校再編整備室 室長補佐）

そののところまでは聞いておりません。今回伺ったのは、統合するときにどういう手立てを行ったか、校舎がどうなったのかを中心に聞きましたので申し訳ありません。

（質問者）

ありがとうございました。

（質問者）

今、高畠町の話ありましたけど、中学校が4校から1校になるのにすごい数の説明会をやっているのに、寒河江市ではこれだけの説明会で終わろうとしているのですか。

（学校教育課長）

これからも説明会を開催していろんなご意見を聞いていきたいと考えております。

（質問者）

決まりではないんですね。この予定ありますよね。皆さんの意見いろ

いろいろありましたら変わるということですね。

（教育長）

計画としては決まっています。ただ、これまで説明会を開いて、いろいろなご意見をいただいております。内容については、市のホームページに載せております。今日の説明会でのご意見も、これから文字おこしをしてホームページにのせます。いただいたご意見等を十分検討しまして、そして、よりよい学校をつくっていく、また、総合的に先のことも考えながら検討していくということになります。その結果として一部修正するということもあるかもしれませんが、再度検討した結果、いろんなことを考えると、この今の計画になるかもしれませんが、来月も保護者向けの説明会等も何校かで開催しますし、ご意見をいただきながら考えて行くということです。

（質問者）

ありがとうございます。いろいろ聞くと私は小学校には関係ない人ですが、自分がいる学校以外でも大事だし、自分がいる学校はもっと大事だと思うのでぜひ無くさないようにお願いします。

（質問者）

先ほどの続きになります。高畠さんは中学校だけだと思います。今回

はそれに三泉のところ、それを見越して合併、廃校が前提となります。先ほど、用地を決めて、小学校のこと、西部のこと、三泉のこと、西根のこと、統合を前提している計画で、有無を言わずと、どうなんでしょうかね。6年間で説得して、154回、それは中学校だけで。われわれはその手前、6年前に小学校が動くということですから、スケジュール的に、地域の合意をするのは無理があるような気がしますけども、三泉でもお話をするというので、そこをここにいるみなさんも、三泉の空気がだいぶ違うということを知ってほしいです。以上です。

(学校教育課長)

ご意見ありがとうございます。

(質問者)

説明ありがとうございました。そもそも説明会の日時についてです。平日の19時30分ということで該当する保護者の方に声をかけてみました。そうすると、習い事があるとか、子どもを見る人がいないということで、行きたいけど今日はいけないということで断りの連絡がきたので1人で参加しております。私もこどもの習い事などありましたが、市外の祖母にきてもらって、送迎と付き添い子守をお願いしてここに参加した経緯があります。もしかして19時30分に

しなければならない理由があるのであれば、子どもを連れてきてもいいですよと言そえる、見守りできますよということであれば、該当するのは小3以下、幼稚園・保育園の保護者の方ですよ。その方も来やすいのかなと思います。今後の説明会の日次について検討いただければと思います。あとですけれども、統廃合するにあたって、ハード面は、すごくすてきな学校ができるのではないかなと想像が膨らむのですが、大事なものはソフト面だと思います。小中学校ではないものの統廃合を経験した、現場の経験がありますので、子どものソフト面大事だなと思っております。コロナ禍ということで、行事が減らされたり、先生方の働き方改革、その中で統廃合に向けての交流会を設定したり、そのようなことで先生の負担が大きいのではないかなと思っております。人数を増員する、子どもたちのソフト面もそうですが、先生方のソフト面も大事になってくるのかなと思いますので、検討いただければと思います。あとは、他の小学校の質疑応答を見せていただいたんですけども、学童の件は他の課とで、それはのちのちという話も出ていたかなと思うのですが、市外からきて誰も見てくれる人がいない、学童保育は大事な施設になっていきます。統合した場合、どこでどのようにしていくのかを示していただかないと不安はぬぐえないのかなと思います。課をこえてだと思うのですが、ぜひ早めのご検討をお願いしたいと思います。いい学校ができることをお祈りしております。

（学校教育課長）

ありがとうございました。学童クラブの件ですが、来月ですが担当課と打合せを始める予定でおります。説明会に関してですが、同じようなことが三泉のときも、夜では保護者の方が来づらいということで、来月ですけども保護者に対象にした日中の説明会を考えているところです。

（教育長）

教員の働き方関係で先生方の負担にならないようにというご意見いただきましてありがとうございます。そういった面も十分考えていきたいと思います。

（質問者）

県外出身者で寒河江に家をかまえた理由は、小学校、中学校に隣接しているので選ばせていただきました。同じ理由で陵南学区にニュータウンができており、同じような理由で選んだ方もいらっしゃると思います。中学校に関しては遠いところにできるかもしれないと思っている人もいると思います。数多い説明会と理解しやすい説明を続けていただきたいと思います。いくつか質問させていただきます。先ほどの学童の話の回答で、来月打合せとありましたが、気づくのが

遅くないですか。学校の計画を建てるうえで学童というのは、切っ
は離せないものだと思うのですが、なぜ対応が遅れたのか教えてい
ただけないでしょうか。

（学校教育課長）

学童の話については、この説明会で当初からでてきたものでありま
す。担当者と話していたところですが、正式な打合せは来月からとな
っております。

（質問者）

初動が遅れたというのは保護者は否定的見られてしまうことがあり
ますので、積極的な返答と進めていただければと思います。先ほどス
ライドの中で、今後の学校のあり方、理想の姿というところで、学校
に來れないお子さんのために入口に近いスペースとか、子どもゆっ
たり過ごせるスペースを作るとか話がありましたが、それって新し
い学校でなくてもできることだと思います。最近、私のまわりで登校
を少し控えなければならぬようなお子さんがいらっしゃいました。
学校の先生に相談して保健室登校でもいいですかという保護者の意
見も、否定された経緯を伺いました。新しい学校でなくてもできるこ
とはたくさんあると思います。今の学校運営についても子どもたち
の目線に進めていただきたいと思います。もう一つです。先ほどの方

の話にもありましたが、地元で学校がなくなるのは不安があると思います。せっかく寒河江、神輿があったり、各地域の祭りがあって、それも好きで寒河江を選ばせていただいたところがありますが、スクールバスで通ってしまうと、学校があるところが地元なのか、家があるところが地元なんじゃないか、不思議な気持ちになると思うんです。地元、まち、おじいちゃん、おばあちゃん、寒河江のふるさとづくりということで、市だけでなく、地区に対しても同じだと思います。そういうことも含めて検討していただければと思います。規模が大きくなると教師、教員が増えると思います。大事なものは、教員1人あたりの見る子どもの数も少なくなっていくのかもしれませんが、逆に言うと教員を指導する管理職、校長、教頭、教務主任の先生方が教職員を見る人数も多くなる。レベルが下がるのではないかという不安があります。これはどこの企業も同じだと思います。教育委員会が仕切ることなのかわかりませんが、教員のレベル、それこそ新しい教育方針、新しい学校でのいろいろなスタイル、私たちの子ども時代には想像できないような授業スタイルが出てくると思います。教員の講習、レベルアップにも力を入れていただきたいです。よろしくお願いいたします。以上です。

（教育長）

様々な角度からご意見ありがとうございました。そのとおりだと思います。

います。地域との関わりという点では学校がなくなると不安というお気持ちは十分わかります。子どもたちが少なくなっていくなかで、校舎の老朽化がどんどん進んでおりまして、その安全面とかいろいろなことを考えまして新しくしていかなければならない。そうしたときに、ある程度人数が多いなかで、校舎を建てたり、そこで学ぶ子どもたちもクラス替えができるくらい的人数はほしいなど。クラス替えがないと人間関係が固定化してしまうということもありますので、そうしたことも含めて計画を立てるとということだと思います。今おっしゃられたことも大事なことだと思いますので、十分配慮しながら進めていきたいと思っています

(質問者)

今、老朽化でとおっしゃいましたが、その建物これから有効的に使っていくんですね。相反する意見だと思うんです。小学校がなくなってしまうエリアに、スクールバスで学童をつくったらいいんじゃないかと考えたんですけど、老朽化は言い訳に聞こえます。学童は耐震性とかで増やす増やせない場所とか、今の説明はいただけないかなと思いますので、上手な説明だったり、進め方をしていただければと思います。

(教育長)

説明の仕方が悪いところがあり申し訳ありません。

（質問者）

お聞きしたいのですが、市内の小中学校の耐震工事は終わっていないところはありますか。

（学校教育課長）

耐震工事はすべて終わっております。

（質問者）

全部終わっている。

（学校教育課長）

終わっております。

（質問者）

終わっているとすれば、それを簡単に老朽化と言わないでください。